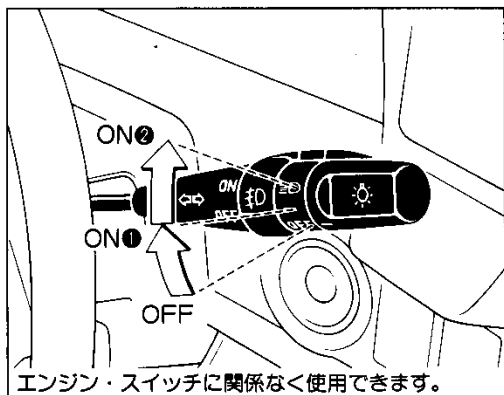



ライト・スイッチ……………47
 フロント・ワイパー&ウオッシャー・スイッチ……………48
 リヤ・ウィンドウ・テフオツガー(曇り取り)・スイッチ……………49
 フォグ・ランプ・スイッチ……………49
 非常点滅灯スイッチ……………50



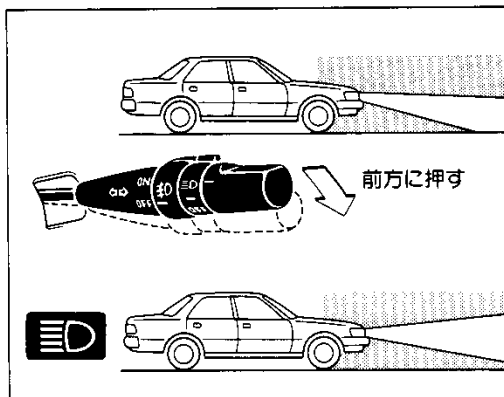
ライト・スイッチ

ツマミを回すとON①、ON②の位置で、次表○印のランプが点灯します。

灯 火 名	ON①	ON②
ヘッドランプ	○	○
車幅灯、尾灯	○	○
番 号 灯	○	○
計器照明灯	○	○

 エンジン停止時、ヘッドランプなどのランプを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

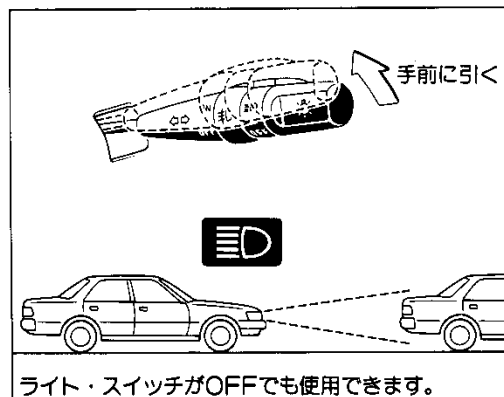
スイッチの使い方



■ヘッドランプの上下切り替えと追いこし合図のしかた

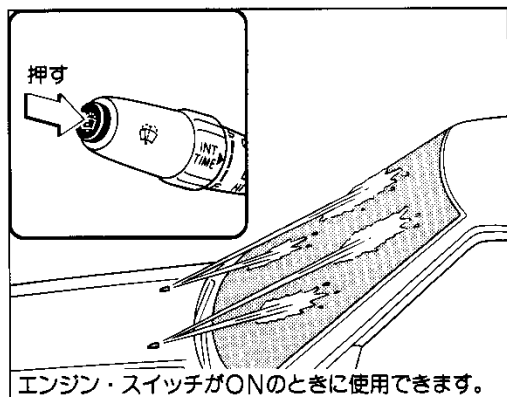
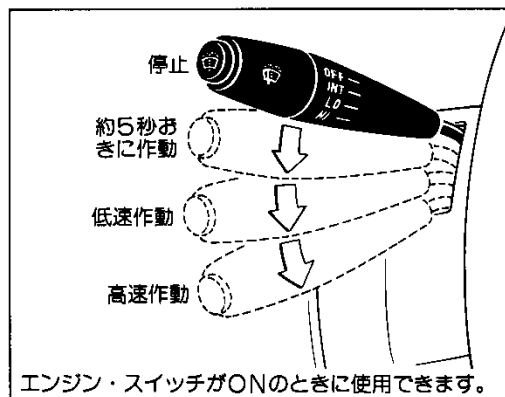
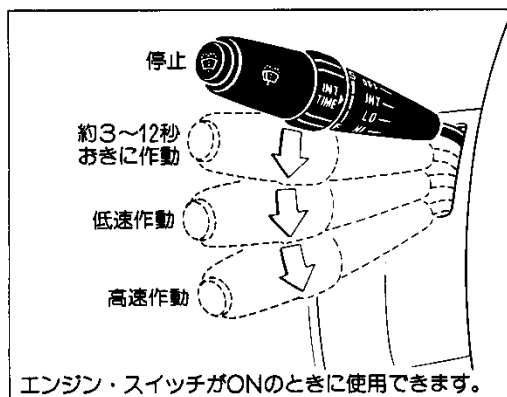
▶ヘッドランプの上下切り替え

1. レバー前方に動かすとヘッドランプが上向きになります。
2. ヘッドランプが上向きときは、計器内のヘッドランプの上向き表示灯が点灯します。



▶追いこし合図のしかた

1. レバーを手前に引いている間、ヘッドランプが上向きとなり計器内のヘッドランプの上向き表示灯が点灯します。
2. レバーから手を離すと、もとの位置にもどります。



フロント・ワイパー&ウォッシャー・スイッチ



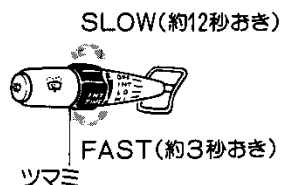
ちょっと一言

- 1.凍結のおそれがあるときや長期間ワイパーを使用しなかったときは、走行前にワイパー・ゴムがガラスに張りついていないことを点検してください。ガラスに張りついたまま作動させると損傷したり、モーターが故障することがあります。
- 2.フロント・ガラスに多量の雪が積もりそうなときは、寒冷地用のワイパーに切り替えてください。⇨93ページの「寒冷地での取り扱い」を参照してください。

■間けつ時間調整式ワイパー

GL(タクシー仕様)、STDを除く

- 1.レバーを図のように操作するとワイパーが作動します。
- 2.INT TIMEのつまみを右図のように操作すると間けつ時間(作動から次の作動までの停止時間)を、約3~12秒の間で調整できます。



■間けつワイパー

GL(タクシー仕様)、STD

レバーを図のように操作するとワイパーが作動します。

■ウォッシャー液の噴射方法

レバー先端についているスイッチを約1秒以上押すとウォッシャー液が噴射され、約1秒後にワイパーが2~3回作動します。



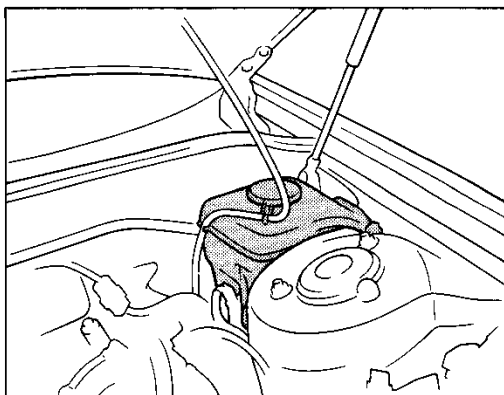
ちょっと一言

- 1.ウォッシャー液が十分出ないときは、ウォッシャー・スイッチを使用しないでください。ポンプをいためることがあります。
- 2.からぶきはガラスを傷つけることがあります。必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。



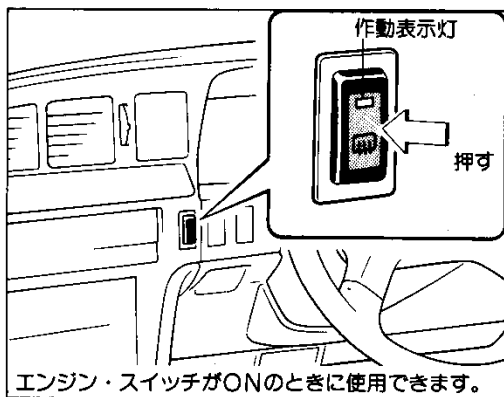
注意!

寒冷時にウォッシャー液を使用するときはガラスに噴射された液が凍結し、視界不良を起こすことがありますので、先にフロント・ガラスを暖めてください。



▶ウォッシャー・タンクの位置

エンジン・ルーム左側後部にあります。



リヤ・ウインドウ・デフォグー(曇り取り)・スイッチ

LG、GR、GL(タクシー仕様のEパックを除く)に標準装備

GL(タクシー仕様のEパック)、STDに注文装備

リヤ・ウインドウ・ガラスが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りを取ります。

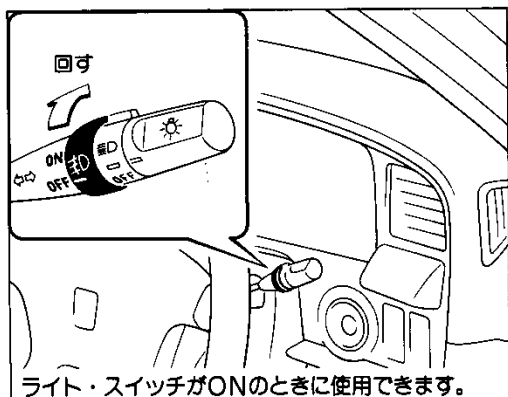
1. スイッチを押すと作動し、作動表示灯が点灯します。
2. 約12～18分間作動し、自動的にOFFになります。
3. 途中で解除したいときは、スイッチをもう一度押します。



ちよつと言

1. 曇り取り以外には使用しないでください。雨水の乾燥や雪などを溶かすことはできません。
2. 熱線入りガラス(内側)の清掃は、湿った布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは使用しないでください。

スイッチの使い方



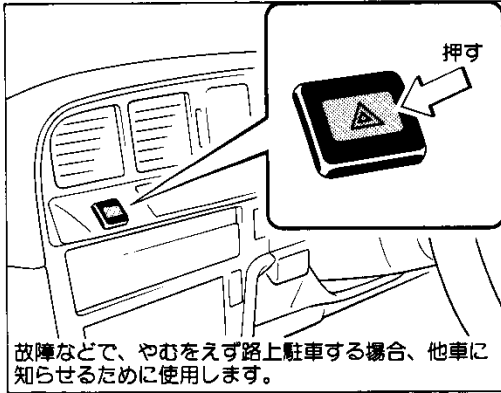
フォグ・ランプ・スイッチ

ツマミを回してONの位置にすると点灯し、OFFの位置にすると消灯します。

ライト・スイッチがONのときに使用できます。

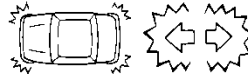
⑤0 スイッチの使い方

非常点滅灯スイッチ



非常点滅灯スイッチ

1. スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。このとき同時に計器内にある方向指示灯表示灯も点滅します。



2. もう一度押すと消灯します。



ちよつと一言

1. 完全充電状態のバッテリーでも長時間使用すると、バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

2. 走行中、異常がないのに使用すると、他車の誤解を招き危険です。